

CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2014 春
vol.3



南房総ロングトレイル。房総の名峰「伊予ヶ岳」を背に、平久里集落を目指す

も く じ

□一灯照隅	…2	□4～7月 CNS ネットワークイベント情報	…8
□指定管理の現場からシリーズ 「新年度のごあいさつ」	…3	□ろくすけ日和 「ろくすけ」	…10
□冬休み～3月の現場レポート ・主催事業 ・ネットワーク・受託事業 ・指定管理施設の主催事業	…4	□シニア自然大学 「修了式」	…10
□こんなことにチャレンジしています！ 「体験農園 in 岩名スタート」	…7	□みんなの大きな食卓	…11
		□会員校・指定管理施設紹介	…12
		□スタッフのつぶやき	…12

横殴りの雪がみるみる積もり、あっと言う間に銀世界、こんな事が連続して起こった二月でした。

私たち千葉自然学校が運営している君津亀山少年自然の家も、一時孤立状態となりました。

子どもの頃、一晩で30センチの雪が積もり、誰も踏んでいない真っ白な雪の中で雪だるまや雪合戦に興じた遠い昔を思い出します。

この年になると雪を楽しむという心境にはならず、ひたすら家の周りの雪かきで足腰の痛みを苦しむことになってしまいます。

今年も、桜の咲く季節を迎え、年度変わりという新たにスタートを切る時期となりました。昨年のこの時期は、設立十周年記念の準備で忙しい時間を過ごしていましたが、今年も相変わらず、年度末に向けての作業や新年度の準備に追われ、結局忙しい時間を過ごしています。

新しい年度では、食堂事業を柱とする千葉自然学校が全額出資する株式会社(社名「体験と健康」)を設立します。その他千葉県立中央博物館のミュージアムショップの運営、千葉三越デパートとの事業連携や佐倉市岩名に体験農園の開設などの新しい事業が始まります。

今、これら新しい事業を進めるための体制づくりに頭を痛めています。

新年度からは、いよいよ若い世代に期待し、経営の柱として組織の活性化を図ってもらうこととしました。これを先輩職員が支え、シニア世代がアシストする、老荘青が上手にかみ合う組織を目指します。

これから、全員参加で目指す頂に到達できるよう進んでいきますので、今年度も各般にわたり皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



「一灯照隅」この後に「万灯照国」と続きます。これは、1つの灯りは隅しか照らせませんが、万の灯りは国全体を照らすことができる。転じて、一人一人が自分の役割を懸命に果たすことが、組織全体にとって最も貴重であるという意味の最澄の言葉です。

「引き継ぐ=繋ぐ 遠藤事務局長の想いをかたちに」

事務局長 小松 敬

「氷が溶けると水になります。雪が解けると何になりますか？」こんな問題が私学の受験問題に出たそうです。求められる答えは・・・「春」です。もともと感性の豊かな子どもにこのような問題が出されるのは何故なのでしょう？センス・オブ・ワンダー。そんなことを考える今日この頃。

平成20年4月に千葉県立大房岬少年自然の家が南房総市に移管されるのを機に(株)千葉薬品からヤックス自然学校の事業ごと千葉自然学校に移って来ました。一年間の南房総市大房岬少年自然の家所長任務を終え、平成24年度まで事業推進部として自主事業、受託事業、ヤックス自然学校の業務に携わって参りました。

10代の頃に自宅の庭で1カ月キャンプを体験し、20代で自然体験活動(主に組織キャンプ)の世界に足を踏み入れ、30代では年間200日以上を自然の中で生活し、40代にはヤックス自然学校の代表を務めて参りました。早いもので千葉自然学校に来てから5年の歳月が経過しました。



時代の流れと共に人それぞれの役割や使命があると考えます。今年度より偉大なる遠藤事務局長より役割と使命、ポストをバトンタッチ(引き継ぐこと)することになりました。ご存知のように遠藤事務局長と同等に動くことも能力も発想もチカラありません。

しかしながら機会ある毎に遠藤事務局長とご一緒させて頂いた5年間に遠藤事務局長から学んだ「小さなビジネス・繋げる(都市部と農山漁村部、人と人)・匠の業・里海里山・NPOと企業・・・」といったキーワードを私なりのやり方で形にしていけるよう日々精進して参ります。どうぞ今後とも宜しくご指導、ご鞭撻頂けますようお願い申し上げます。

「新年度ごあいさつ」

千葉自然学校は、現在県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として千葉県、南房総市からそれぞれ委託を受け、管理・運営を行っています。このコーナーでは、毎回キーワードを設け、それぞれの施設での取り組みや想いを皆様にお届けしていきます。

千葉県立君津亀山少年自然の家 所長 庄司達哉



きみかめのような施設は「青少年教育施設」と呼ばれています。ということは、ここで働く私たちは、『教育者』になります。きみかめを訪れる子ども達は、カレーライス作りやプラネタリウム観賞、キャンプファイアーなどたくさんの体験をして帰っていきます。こうした活動は、子どもたちにこんなことを学んでほしいという引率者の思いや、施設にいる私たちの思いを伝えるための「手段」として用いられます。ただ、教育は相手があってこそできるもの。こちらの思いを伝え、それをどう感じたか、何が伝わったかという子どもたち側からのアプローチも必要だと思います。所かまわずうるさくしたり、時間を守らなかつたり、忘れ物が多かつたりと子ども達にはトホホな部分もありますが、反面その純粋さや一途さにハッとさせられることもあります。

私自身は子どもたちと関わることで、一緒に成長できる『共育者』でありたいと思います。きみかめをご利用の際は、「子ども達がこんな反応をしてたよ」「ここが使いつづらかったよ」とスタッフにお声がけください。よりよいきみかめにするため、スタッフ一同邁進してまいります！

南房総市大房岬少年自然の家 所長 神保清司



私どもNPO法人千葉自然学校が、南房総市大房岬少年自然の家の指定管理者として運營業務にあたらせていただき7年目を迎えます。私個人としては、5年間所長を務め、本年度もまた所長として務めさせていただくこととなりました。この施設の設置目的に賛同いただきご協力いただいている皆様に、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

自然体験活動が子ども達の生きる力を育む教育手法として有効であることが、徐々に認知され学習指導要領にも、その必要性が謳われる時代となりました。私もその最前線で現場に身を置かせてもらうことで改めてその効果と必要性を感じさせられる毎日です。本年度も地域の青少年教育施設としてその使命を果たすべく精進したいと思います。

今年も大房岬に子どもたちの歌声や笑い声が響き渡る季節の到来が楽しみです。でなりません。

大房岬自然公園 公園長 畑野佳昭



大房岬自然公園施設も新年度を迎えました。平成18年度から千葉自然学校が指定管理者として運営に携わって以来9年、キャンプ利用者を始め公園利用者が増えたのはもちろん、千葉自然学校のノウハウを活かして魅力あるプログラムの実施に尽力してきました。ここ2年は自然公園ボランティアの活動の場を提供できるようにも務め、2年間で延べ200名を超える参加者とともに自然公園の桜の植樹や清掃、生き物のすみか作りなど管理運営にあたってまいりました。資源や予算は限りがありますが、人の知恵や力には無限の可能性に満ちています。

平成26年度も引き続き自然公園の管理を通して、また事業を通して「ボランティアの場づくり」「人づくり」「生きがいくくり」を推進していきたく思います。

この4月より当公園が「森林セラピー基地®」として認定を受けました。遊びと学びの公園だけでなく、癒しの公園としてもご利用ください。お待ちしております。

冬休み&①②③月の現場レポート

《主催事業》

千葉自然学校は、子ども（幼児）～大人を対象に自然体験プログラムを提供しています。子どもには、自然の中で思いっきり遊ぶことで、少しでも自然に対する興味・関心に繋がればと願い、また新しいことにも積極的にチャレンジし、不便な中でも自分で考え、工夫する力を育むことを目的としています。

大人には、体験プログラムを通して自然との触れ合いやご自身にあった運動量で、心と身体の健康づくり、そして地域・文化との触れ合いを大切に企画しています。

週末・子ども

森のクリスマスキャンプ

～工夫する楽しみ・想像する楽しみ・野外ならではの楽しみ そんなクリスマス！～

①12/22(日)～23(月) ②12/23(月)～24(火)

1泊2日 施設泊 千葉県立 君津亀山少年自然の家 幼児(年中～年長)と小1～6年生

◆クリスマスクッキング(鶏の丸焼き)/夜のサンタタイム/松ぼっくりでミニクリスマスツリー作り



「1 羽丸ごとの鶏肉は初めて」「包丁を使ったり火おこしやダッチオーブンは初めて」など、子どもにとって多くの「初めて」がありました。夜のサンタタイムでは、普段は自分がもらうプレゼントを、自分が届けるという企画に、子どもは目をキラキラさせていました。

2日目は、松ぼっくりでツリー作り。松ぼっくりを手に創造力を働かせ、夢中になって作る姿が見られました。

週末・子ども

バームクーヘンとターザン遊び

～冬の森をめいっぱい楽しもう！～

1/18(土)～19(日)

1泊2日 施設泊 千葉県立 君津亀山少年自然の家 幼児(年中～年長)と小1～6年生

◆焚き火でバームクーヘン作り/プラネタリウムと星空観察/ターザン遊び(森のブランコ、ターザンロープ、ハンモック)/葉っぱのはがきづくり



たき火は寒い時期だからこそ暖かさを感じることができません。空気の透き通る冬の時期は、星空観察に適しています。落ち葉が拾えるのは、葉が落ちる秋から冬にかけてです。冬は、なんとなく外に出るのが億劫に感じてしましますが、冬にこそできる自然の楽しみ方を子どもたちに感じてもらうことができました。



週末・子ども

羊(ひつじ)キャンプ ～羊とふれあい、動物を学ぶ2日間～

2/8(土)～9(日)

1泊2日 施設泊 幼児(年中～年長)と小1～6年生 千葉県立 君津亀山少年自然の家 ライブストック(千葉自然学校会員校)

◆羊のお世話/毛刈りの見学/動物スライドショー/羊毛玉ストラップ作り

牧場では産まれて間もない子羊と対面。かわいらしい姿の中にも、しっかりと自分の足で歩き、お乳を一生懸命飲むたくましさがありました。特に印象的だったのは、羊毛から毛糸を紡いだ時の子どもたちの驚く顔でした。動物の毛が身近な製品に変わる瞬間を間近で見ることができました。

動物とふれあい、動物のことについて学び、人と動物の関わりを感じることができた活動となりました。



大人(シニア)

千葉の「魅力ある里(自然・人・伝統)」を知る旅



房総には『人と自然が共生し、豊かな暮らしを紡いできた里があります。里海 里山の豊かな自然に触れ、自然に寄り添う人の暮らしにふれる旅。年間を通じて、房総の知られざる自然の魅力的を紹介しています。

房総を歩こう 第3回 新春南房総富山水仙ロード

1/11(土)日帰り 南房総市富山

南房総の暖かな陽射しの中、水仙を楽しみ、富山へ登ってきました。急な階段に汗を流した後のお水、山頂で食べたお弁当、海が見える景色、おしゃべり。どれもみんな最高の思い出となりました。



房総を歩こう 第4回 津森山と人骨山(節分の山)

2/22(土)日帰り 鋸南町 津森山・人骨山

朝方は冷え込んでいた南房総でしたが、だんだんと日射しに恵まれ、最高のハイキング日和になりました。低山とはいえ、眺望素晴らしく楽しめました。雪の残る道も童心に戻り、いい雰囲気の中のトレッキングになりました。



《ネットワーク・受託事業》



ネットワークの取り組み

《南房総体験活動ネットワーク協議会》食と地域の交流促進事業



12月19日、鴨川市にあるみんなみの里にて「風土食シンポジウム・揚げ重パーティー」を開催しました。パーティーには、南房総市域の農漁村の女性団体12団体に地域の郷土料理を出品いただき、各地域ならではの特徴が出ている料理がずらっと並びました。中には同じ料理でも、地域や家庭によって味付けや盛り付け方が全く違うものも。作り手との会話も楽しみの1つとなり、参加された方からは「千葉の料理の温かさが伝わった」と大変ご好評をいただきました。

午後のシンポジウムでは、石川氏(鴨川市教育委員会)と龍崎氏(千葉県伝統郷土料理研究会)に「彫工波の伊八」と「郷土食」についてご講演いただいた後、「地域資源を活かして地域を活性化するには」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。

会場の皆さんが熱心にうなずきながら聴講されており、参加者からも様々な悩みや質問が出てくる活発なシンポジウムとなりました。

「まとめ」ではなく、「これからの地域のため」に開催した今回のシンポジウムには120名を超える方々がご参加くださいました。「地域」に関心を持つ仲間が多くいるということがわかりました。皆様と共に、南房総地域の未来のために、ここからまた一歩ずつ進んでいければと考えています。



(文: 齋藤みゆき/みら)



企業との取り組み

コスモ石油株式会社 学校の環境教育支援プロジェクト



2006年から始まったコスモ石油から受託している事業も、今年で8年目を迎えました。企業のCSR活動の一環として県有林を整備し、そこを市原市内の小学校の環境学習の場に活用する「コスモの森環境学習」は、企業とNPOとの連携を評価され、過去にちばコラボ大賞も受賞しました。

今年度の対象学校は約140周年の歴史をもつ市原市立姉崎小学校の4年生。活動に入る前は虫が怖い生徒が居たりもしましたが、実際に森へ行くと、虫や植物に興味をもって積極的に採取する姿が見られました。

大山千枚田やSATOYAMAよくし隊といった地域で活動する団体にも協力をいただき、知識や技術を教えてもらった子どもたち。森へ対する興味が学びへつながり、森や環境に対して行動する“アクション宣言”を一人一人作ることができました。

(文: 上地智子/かみい)



ネットワークの取り組み

千葉自然学校ネットワーク会議

年に2回、普段は県内でそれぞれ活動されている千葉自然学校の会員団体の皆さんと「ネットワーク会議」を行っています。普段はエリアごとに動いているので、全体で集まる機会は貴重な時間です。

研修を行ったり、年間の報告をしりと議題は回によって様々。この3月に実施した会議では、それぞれの活動紹介を行いました。持ち時間10分ずつの短い時間でしたが、お互いの話を聞き、お互いの持つ技術や情報、つながりを出し合うことができ、「これぞネットワークの力!」と思えるとても良い時間を持つことができました。

(文: 佐藤玲子/かつを)



■こんな取り組みもしています■

千葉自然学校 会員校とシニア自然大学本科2期生でお見合い会。



この春、シニア自然大学2期生の皆さんが1年間の講義を終えて本科を修了されました。1年間で学ばれた様々なことと、受講生の皆さんの経験や技術を発揮し、活躍できる場所を見つけていただければ、毎年この時期に、千葉自然学校のネットワークに加盟している会員団体の皆さんとお見合い会を設定しているのです。ここでのご縁が、シニア自然大学の皆さんの生き甲斐となり、皆さんのエネルギーが団体を元気にし、地域に活気が生まれたら、本当に素敵なことだと思っています。

千葉県立中央博物館のミュージアムショップの運営事業スタート!

ご縁があり、平成26年4月8日(火)から、千葉市にある千葉県立中央博物館のミュージアムショップの運営を千葉自然学校が行うことになりました。中央博物館や隣接する青葉の森へ来た方が、思わず寄って帰りたくなるショップになれるよう、商品開発やイベント企画にも取り組んでいきます。お近くへお越しの際は、ぜひのぞいてみてください♪

【営業時間】 平日…12:00~16:30、土日祝日…11:00~16:30

《指定管理施設の主催事業》

千葉県立君津亀山少年自然の家

「カラフルお餅つきとお正月遊び」

お正月特別企画「カラフルお餅つきとお正月遊び」を実施しました。

午前中は、羽子板、凧上げ、福笑い、けん玉、カルタ、習字をラリー形式で楽しんでもらいました。凧上げは、広いスペースがない街中ではなかなか上げられないため大人気でした。お正月遊びは、子どもの成長や豊作など、新しい一年に向けて、たくさんの願いがこめられているのだそうです。

午後からは、お餅つきです。今回は赤(古代米)、紫(古代米)、黄(きび)、緑(よもぎ)、ピンク(食紅)の五色のお餅をつきました。もちろん、杵と臼を使って挑戦です。ついたお餅は、木の枝に挿して小正月まで飾る、花餅にしました。こちらも一年の五穀豊穰を祈願してる昔からの風習です。テレビを見て過ごすお正月も良いですが、家族と一緒に外に出て体を動かし、新しい一年の生活に願いを込める、昔ながらの遊びを楽しめたのではないのでしょうか。(文:白井健/ねぎ)

千葉県立大房岬自然公園

「はじめてのバードウォッチング」

今回は、3月に実施したバードウォッチングイベントをご紹介します。バードウォッチング初心者向けのイベントで、双眼鏡の使い方や野鳥観察の基本をお伝えし、大房岬を巡りました。大房岬は森と海が隣接しているため、その両方に住む鳥を観察することができます。また、この時期は越冬にきた鳥も多く、アカハラ、シロハラ、イソヒヨドリ、カワラヒワなど様々な種類の鳥を観察



できました。スコープという鳥用の望遠鏡を使うと、細かな模様やしぐさを観察でき、皆さんとても見入っていました。

バードウォッチングは、何の鳥か知ること、生態を知ること、スケッチ、写真撮影、声を聴くなど、様々な楽しみ方があります。大房岬では80種類以上の鳥が観察されています。ぜひみなさんも、鳥たちの世界に飛び込んでみませんか？

(文:千葉雄祐/ギャッツ)



「南房総ロングトレイル」 南房総市大房岬少年自然の家

1月25日、2月1日で南房総ロングトレイルの第2回、3回を実施し、どちらも定員30名を超えるお申し込みをいただきました。

第2回は、平久里集落を出発し、「大日山」を経て増間集落までの約12kmを歩き、のどかな里山風景の中や、御殿山から大日山へ続く縦走路など、変化に富んだコースをお楽しみいただきました。

第3回は、宮下(南房総市内の地名)から「房央三郡山」を経て「道の駅鄙の里三芳村」まで約14kmのコース。迷路のように入り組んだ房総特有の尾根道歩きが特に好評で、かつての街道跡や巡礼道を辿ると、馬頭観音などの石仏や札所が今も残り、歴史を感じる旅となりました。

参加者の年齢層は20代~70代、お住まいも千葉県内、東京、遠くは青森からお越しの方も。お昼は房総の旬の食材が詰まった料理長お手製弁当に舌鼓。

来年度も開催します。楽しみのたくさんつまった南房総ロングトレイルを一緒に歩き、心も体もリフレッシュする旅に出かけてみませんか。(文:大日方冬樹/オビワン)



こんなことにチャレンジしています！

『佐倉市で農業体験型農園オープン』

佐倉市にある岩名運動公園の隣にある畑で、岩名を活動拠点とするNPO法人佐倉みどりネット・千葉シニア自然大学・千葉自然学校、そして地元農業者さんのご協力のもと、この4月に「体験農園 in 岩名」としてスタートをきりました。

市民農園との違いは、農業の先生がいること。そして、種苗や道具など農業に必要なものは農園で全て準備していること農業初心者の方にはもってこいのスタイルです。実際、今回お申込みいただいた皆様も農業をやりたいけど、何をどうしたらいいのか…という方がほとんどです。

これから1年間、いつ何をどうすればいいかを、月に2回程の栽培講習会で先生から教わり、それぞれの畑(1区画5m×6m=30㎡)で作物を育てます。春と秋の植え付けで、年間20種類の野菜を育てます。おいしい野菜を楽しみながら学びながら育てる中で、農園利用者さん同士の横のつながりができ、お互いに助け合いながら作業ができる温かい農園にしていきたいと、スタッフ一同準備を進めています。

第1回目の栽培講習会は4月12日(土)・13日(日)を予定しています。説明会は終了しましたが、まだ若干の枠がありますので、もし、興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひお問い合わせください。

(文:佐藤玲子/かつを)



★農園の看板は、大学院に通うヤックスリーダーのピョヒコが作ってくれました！

体験農園 in 岩名 今春スタート！入園者募集中。

- ・住所:千葉県佐倉市飯野920-1(岩名運動公園 駐車場の隣)
- ・利用期間:平成26年4月~平成27年1月 *2~3月は土づくり期間
- ・年会費:43,000円(受講料、種苗代、栽培用具・資材代・作物代)
- ・毎月1~2回の栽培講習会(基本は土日開催)、年2~3回の交流会を予定



4月のイベント

内浦山県民の森 <問合せ・申込み：04-7095-3185>

◆4/12 (土) 春の山菜天ぷらと手打ちうどん作り
手打ちうどん作りに挑戦。森の散策で見つけた春の香りいっぱいの山菜を天ぷらにして一緒にいただきます。
時間：9:30～12:30/会場：内浦山県民の森(鴨川市)
定員：25名 *中学生以下は保護者または引率者同伴/料金：1,100円

◆4/23 (水) 加茂川から森へハイキング
海と森をつなぐ加茂川沿いを、漁業で栄えた街並みや自然、そして地域に暮らす人々がその思いを託した石造物を巡って歩きます。約10km、団体歩行。
時間：9:30～15:30
定員：30名 *中学生以下は保護者または引率者同伴/料金：1,200円

ELFIN 体験共育くらぶ <問合せ・申込み：0470-55-8322>

◆4/13 (日) 春のお山歩@浅間嶺
心地よい春の空気を感じながら自然の中を歩きます。はじめの1時間半程度切りれば、あとは穏やかな下りの尾根歩きです。浅間嶺ではコンパクトパーナーを使って昼食を作り、お花見ランチを楽しみます。(昼食付)
対象：20歳以上の方/料金：会員5,500円 ビジター6,300円
定員：8名(最少4名)/会場：東京都松原村/集合・解散：武蔵五日市駅

◆4/19 (土) お山歩@伊予ヶ岳、お山歩@御殿山
①伊予ヶ岳：千葉県では珍しく鋭い岩峰の頂をもち、唯一「岳」がつく山です。山頂からは手前に富山の双耳峰、その先に東京湾、空気が澄んでいけば遠く富士山を望むことができます。山頂下は急な登りです。
②御殿山：丸い山容の奥深い山です。山頂にはシイの大木があり、その樹冠は遠くからでもわかる特徴ある山です。山頂付近には椿、桜があり、東京湾と太平洋の両方が望むことができます。
定員：6名(最少4名)/対象：20歳以上の方
料金：会員5,000円(半日2,500円)、ビジター5,500円(半日3,000円)
集合・解散：JR内房線 若井駅・高速バス ハイウェイオアシス富楽里

◆4/20 (日) 春の山野草を楽しむ
野に出て山菜、野草を採りながら、里山の自然とふれあえます。お風は採った山野草を素材に料理を作り、春の味覚を楽しみます。(昼食付)
定員：10名(最少3名)
対象：20歳以上の方/料金：会員4,000円 ビジター4,800円
会場：千葉県銚南町/集合・解散：JR若井駅・ハイウェイオアシス富楽里

◆4/29 (火祝) 春の海釣り体験@三浦半島
春の小磯で釣り体験。釣りは初めてでも気軽にできるシンプルなノベ竿・ウキ釣り仕掛けで春を告げる魚「ウミタナゴ」を狙います。親子でも参加可能。
定員：15名(最少6名)
対象：小4～中3/料金：会員5,500円 ビジター6,300円
会場：神奈川県油壺/集合・解散：品川駅、横浜駅、現地

◆4/30 (水) 潮干狩り&青空ごはん
(潮まわりがよいので平日企画!) 東京湾の天然干潟で潮干狩り。潮干狩り後は、アウトドア料理を作り、のんびりお風ごはんを楽しみます。(昼食付)
定員：15名(最少6名)/対象：どなたでも/応募締切：4月20日(日)
料金：4,000円(グループ割引3名以上で3,500円/人)
会場：野島公園(神奈川県)/集合・解散：野島公園

上総自然学校 <問合せ・申込み：0438-75-7414>

◆4/12 (土)・13 (日) 畦塗&稲の苗作り
稲の種もみを播いて苗作り&田んぼの畦塗をして田植えに備えます。タケノコ掘りもあり。
時間：各日10:00～15:00/対象：どなたでも *小学生以下は親同伴必須
料金：大人2,000円、子ども1,000円/会場：上総自然学校(袖ヶ浦市)

◆4/19 (土) ヨモギ餅作り
春の里山でヨモギを摘んで、もち米をついてヨモギ餅を作ります。
時間：14:00～16:30/会場：上総自然学校(袖ヶ浦市)
料金：800円/対象：どなたでも *小学生以下は親同伴必須

◆4/27 (日) 巨木&野草トレッキング
スタジイの巨木などを巡りながら、野草や葉草を探します。
時間：13:00～16:00
料金：500円/対象：どなたでも *小学生以下は親同伴必須

食と農の体験工房よもぎ館 <問合せ・申込み：0479-86-3794>

◆4/26 (土) 季節の農業体験(落花生(おおまさり)播き)
季節の野菜の種を播いたり、苗を植えたり、次回来館した際に収穫して食べ頂く、食の自然体験プログラムです。
会場：食と農の体験工房よもぎ館(山武市)
料金：2,000円/回(昼食込)/対象：小学生以上、親子、グループ

千葉自然学校 <問合せ・申込み：043-202-7173>

◆4/19 房総を歩こう～亀山湖から秘境ハイキング～
◆4/26 (土)～27 (日)
ひがた遊びと森探検～海と森のつながりを探れ～◆

ヤックス自然学校 <問合せ・申込み：043-202-7070>

◆4/26 (土)～27 (日) 農ガキシリーズ「田植え」

君津亀山少年自然の家 <問合せ・申込み：0439-39-2628>

◆4/13 (日) プラネタリウム・おもしろ駄菓子づくり

大房岬少年自然の家 <問合せ・申込み：0470-33-4561>

◆4/26 (土)～27 (日) 岬でキャンプをはじめよう!
◆4/29 (火・祝) 海で遊ぼう!磯の生き物発見ツアー

5月のイベント

内浦山県民の森 <問合せ・申込み：04-7095-3185>

◆5/10 (土)～春の星空観察会～スターキャンプ鴨川
春の星々や土星の観察をします。子ども対象に望遠鏡操作体験会も実施。マイ望遠鏡持参可。君津天文同好会との共催イベント。
時間：16:00～20:30/料金：100円
定員：20名 *中学生以下は保護者または引率者同伴

◆5/27 (火) 鴨川の石造物百選を巡る①
鴨川の石造物百選をめぐるシリーズ第1回目。鴨川～東条地区を歩きます。約10km、団体歩行。
時間：9:30～15:30/料金：1,200円
定員：25名 *中学生以下は保護者または引率者同伴

ELFIN 体験共育くらぶ <問合せ・申込み：0470-55-8322>

◆5/3 (土) 春の海釣り体験@南房総
春の陽だまりの中、堤防で釣り体験。ノベ竿ウキ釣りで「ウミタナゴ」またはリール竿チョイ投げ釣りで「シロギス」を狙います。親子でも参加可能。
定員：15名(最少6名)/料金：会員5,500円 ビジター6,300円
対象：小4～中3/会場：南房総市/集合・解散：東京駅、千葉駅、現地

◆5/5 (月祝)～5/6 (火祝) 親子で春の岬キャンプ
南房総の岬のキャンプで春キャンプ。テント立て、たき火で野外クッキング、夜の岬の森の探検、原っぱで寝転んで星空観察、海釣り、ビーチコーミング&クラフトなどの活動で思いっきり楽しむ1泊2日。
対象：小学生の家族
会場：大房公園キャンプ場(南房総市)/定員：5組(最小3組)
料金：親子2人1組26,000円
3人目より1人9,000円/幼児5,000円(4歳以上)
集合・解散：現地、JR内房線 富浦駅、高速バス とみうら枇杷倶楽部

上総自然学校 <問合せ・申込み：0438-75-7414>

◆5/3 (土) 赤米田植え&サツマイモ定植
赤米という古代米の田植えとサツマイモの苗を植えます。収穫が楽しみ!
時間：13:00～16:00/対象：どなたでも *小学生以下は親同伴必須
料金：大人1,000円、子ども500円/会場：上総自然学校(袖ヶ浦市)

◆5/17 (土)・18 (日) 田植え
昔ながらの段々田んぼで田植えをします。初夏の田んぼは気持ちいい!
時間：各日10:00～16:00/対象：どなたでも *小学生以下は親同伴必須
料金：大人2,000円、子ども1,000円/会場：上総自然学校(袖ヶ浦市)

◆5/24 (土) 補植&ゲンジボタル
田植え後の田んぼで、苗が流れてしまった所などを探して苗を植えます。夜は田んぼでゲンジボタルを観察します。(夕食付)
時間：15:30～20:00/対象：どなたでも *小学生以下は親同伴必須
料金：大人1,200円、子ども1,000円/会場：上総自然学校(袖ヶ浦市)

◆5/25 (日) 紫米田植え&ヨガ
紫米の田植えの後に、田んぼの畦でヨガをします。農作業とヨガの組み合わせは相性抜群です。
時間：13:00～17:00
対象：どなたでも *小学生以下は親同伴必須
料金：大人3,500円、子ども2,000円/会場：上総自然学校(袖ヶ浦市)

◆5/31 (土) 水路生物観察
田んぼの水路に網をいれて、水生昆虫などの観察をします。水路には生き物がたくさん!
時間：13:00～16:00/会場：上総自然学校(袖ヶ浦市)
料金：500円/対象：どなたでも *小学生以下は親同伴必須

食と農の体験工房よもぎ館 <問合せ・申込み：0479-86-3794>

◆5/3 (土) 田植え体験
昔ながらの作業方法で古代米(天手古米)を作ってみませんか?田植えから収穫(稲刈り、おたかけ、脱穀、もみすり)を行います。すべて手作業です。収穫した古代米はかまどで炊いて食べます。稲刈りは9月末を予定。
会場：食と農の体験工房よもぎ館(山武市)
料金：2,000円/回(昼食込)/対象：小学生以上、親子、グループ

◆5/24 (土) 季節の農業体験(落花生(おおまさり)播き)
季節の野菜の種を播いたり、苗を植えたり、次回来館した際に収穫して食べ頂く、食の自然体験プログラムです。
会場：食と農の体験工房よもぎ館(山武市)
料金：2,000円/回(昼食込)/対象：小学生以上、親子、グループ

千葉自然学校 <問合せ・申込み：043-202-7173>

◆5/3 (土)～5/5 (月祝) ターザンキャンプ@君亀
◆5/10 (土)～5/11 (日) 釣りバカウィークエンド@南房総
◆5/24 (土) ビスター①新緑の奥多摩 高水三山ハイキング
◆5/31 (土)～6/1 (日) 週末・座禅リトリート@大多喜

ヤックス自然学校 <問合せ・申込み：043-202-7070>

◆5/3 (土)～5 (月) GW岬の冒険キャンプ@大房
◆5/24 (土)～25 (土) 森の秘密基地作り@君亀

君津亀山少年自然の家 <問合せ・申込み：0439-39-2628>

◆5/6 (火祝) プラネタリウム
◆5/6 (火祝) 森のアスレチック

大房岬少年自然の家 <問合せ・申込み：0470-33-4561>

◆5/3 (土)・5/4 (日) 海で遊ぼう！磯の生き物発見ツアー
◆5/18 (日) ソトごはんクラブ～アウトドア料理を始めよう！～
◆5/18 (日) プラネタリウム「春の星空」

大房岬自然公園 <問合せ・申込み：0470-33-4551>

◆5/3 (土) 岬のナイトツアー～闇のコウモリを追え～
◆5/4 (日) 暗闇の忍者ゲーム
◆5/13 (火) 大房ピオトープ作りボランティアイベント①
◆5/31 (土) 岬レンジャー～大房の四天王の秘密を探れ～①

6月のイベント

内浦山県民の森 <問合せ・申込み：04-7095-3185>

◆6/4 (水)・6/8 (日) 石窯パン作り挑戦！
レンガの石窯でパン作り挑戦してみよう。ちょっとアレンジして、ナンとカレーも作ってみよう。
時間：10:00～14:00/料金：1,100円
定員：各日15名 *中学生以下は保護者または引率者同伴

◆6/28 (土)・7/5 (日) ヒメボタルに愛隊(夜の森の観察会)
漆黒の闇に、キラキラ光るヒメボタルに会いに、夜の森を歩きます。ヘビトンボやモリアオガエルにも会えるかも。雨天時は室内でのお話になります。
時間：20:00～21:30/料金：大人500円 子ども300円
定員：各日40名 *中学生以下は保護者または引率者同伴

ELFIN 体験共育くらぶ <問合せ・申込み：0470-55-8322>

◆6/8 (日) たき火料理に挑戦！竹ごはんを炊こう
たき火の基本を学び、たき火料理を作ります。家族ごとに青竹を使った竹ごはんに挑戦。おかずは協力してつくります。(昼食付)
対象：小学生の家族/定員：5組(最小3組)
会場：夢の島公園(東京都江東区)予定
料金：親子2人1組会員9,000円 ピンター10,000円
3人目より1人3,000円(3歳以下無料)

◆6/21 (土) 展望の尾根山歩@大菩薩嶺
首都圏から最も近い百名山大菩薩嶺を訪れます。富士山や南アルプスの山並みを眺めることのできる伸びやかな山歩は、気持ちいい山歩を約束してくれます。(昼食付)
定員：8名(最少4名)
対象：20歳以上の方/料金：会員6,200円 ピンター7,000円
会場：山梨県甲州市/集合・解散：甲斐大和駅・上日川峠

上総自然学校 <問合せ・申込み：0438-75-7414>

◆6/7 (土) 里山ウォッチ&ゲンジボタル鑑賞
里山とホタルの関係を、またたんぼが明るいうちに学び、暗くなったらホタル鑑賞。
時間：17:30～20:00/対象：どなたでも *小学生以下は親同伴必須
料金：500円/対象：どなたでも *小学生以下は親同伴必須

◆6/14 (土) 草とり&ホタル
たんぼの草取り→BBQ→ホタル鑑賞。夏を満喫コース！
時間：11:00～20:00/対象：どなたでも *小学生以下は親同伴必須
料金：大人2,000円、子ども1,000円/会場：上総自然学校(袖ヶ浦市)

◆6/21 (土)～22 (日) 草とり&ホタル
1泊2日 [1日目]たんぼの草取り→BBQ→ホタル鑑賞
[2日目]朝の座禅体験→たんぼでスイカ割やザリガニ釣り
開催日：6月21日(土)11:00～22日(日)13:00
対象：どなたでも *小学生以下は親同伴必須
料金：大人6,000円、子ども3,000円/会場：上総自然学校(袖ヶ浦市)

◆6/28 (土) 紫米草とり&ヨガ&ホタル
紫米のたんぼで草取り→たんぼの畦でヨガ→精進料理→ホタル鑑賞
時間：14:00～20:00/対象：どなたでも *小学生以下は親同伴必須
料金：大人4,500円、子ども3,000円(精進料理付)
会場：上総自然学校(袖ヶ浦市)

食と農の体験工房よもぎ館 <問合せ・申込み：0479-86-3794>

◆6/21 (土)・6/27 (土)
季節の農業体験(トウモロコシの収穫)
会場：食と農の体験工房よもぎ館(山武市)
料金：2,000円/回(昼食込)/対象：小学生以上、親子、グループ

千葉自然学校 <問合せ・申込み：043-202-7173>

◆6/21 (土)～22 (日) ワイルド釣りキャンプ in 亀山湖

ヤックス自然学校 <問合せ・申込み：043-202-7070>

◆6/21 (土)～22 (日) ワイルドクッキング@長南町

君津亀山少年自然の家 <問合せ・申込み：0439-39-2628>

◆6/15 (日) プラネタリウム
◆6/15 (日) ダッチオープンでおやつづくり

大房岬少年自然の家 <問合せ・申込み：0470-33-4561>

◆6/1 (日) ソトごはんクラブ～アウトドア料理を始めよう！～
◆6/1 (日) プラネタリウム「夏の星空」

7月のイベント

上総自然学校 <問合せ・申込み：0438-75-7414>

◆7/5 (土) ハイケボタルナイトウォーク
たんぼに生息するハイケボタルを見に行きます。
時間：18:30～20:00/対象：どなたでも *小学生以下は親同伴必須
料金：500円/会場：上総自然学校(袖ヶ浦市)

◆7/12 (土)～13 (日) 草とり&ホタル
1泊2日 [1日目]たんぼの草取り→BBQ→山の里山昆虫探し
[2日目]朝の座禅体験→たんぼでスイカ割やザリガニ釣り
開催日：7月12日(土)11:00～13日(日)10:00
対象：どなたでも *小学生以下は親同伴必須
料金：大人4,000円、子ども2,000円/会場：上総自然学校(袖ヶ浦市)

その他

初夏グルメ「海鮮鉄板焼き」 国民宿舎サンライズ九十九里
アワビ、海老、蛤、ホタテ、そして千葉の郷土料理のサンガ焼きなどの新鮮な魚介類や夏野菜など全12種を豪快に味わう海鮮鉄板焼きのプランです。
期間：4月1日(火)～7月18日(金)(除外日5月3日～5月6日)
料金：大人2名様以上～ 1泊2食おひとり様10,800円
*土曜日、5月2日は、2,160円加算
◆問合せ・申込み：0475-76-4151

一番星ヴィレッジ オープン 千葉・草原のこころファーム
大人も子どもも楽しめる世界。千葉県市原市。東京ドーム13個分の牧草の「こころファーム市原」にオートキャンプ場が誕生します。都会から少し離れたこの場所で、ステキなひと夏を過ごしていただければと思います。
開催期間：5月1日～9月7日
会場：千葉・草原のこころファーム(市原市)
料金：オートキャンプー中学生以上1,500円、小学生700円
駐車料(1泊あたり) 車1台1,500円、バイク1台700円
デイキャンプー中学生以上1,000円、小学生500円
*小学生未満無料
◆問合せ・申込み：080-3449-2759

岩井 地引き網と海鮮バーベキュー 岩井民宿組合
昔から盛んだった漁師たちの地引き網が、今も受け継がれています。岩井民宿の南房総岩井海岸での宿泊と地引き網の体験をお楽しみください。
おむすび・飲み物は各自持参して頂いております。
開催日：5月6日(火祝)、18日(日)、6月1日(日)、22日(日)
*5月6日は、5日の宿泊者限定！
料金：大人2,500円(中学生以上)、子ども1,000円(3歳以上)
時間：午前7:40～ ◆問合せ・申込み：0470-57-2088

通年体験プログラム

陶芸体験(絵付け、手びねり、電動ロクロ) 鴨川陶芸館
鴨川市の郊外、自然豊かな里山に立地し、大上千枚田の棚田もすぐ近く、広々とした工房でゆったりと楽しんで頂ける癒しのスポットです。絵付け、手びねり、電動ロクロのプログラムから自由に選んで頂けます。
開催時間：通年9:00～17:00(最終受付時間15:30)
料金：絵付け1,800円、手びねり2,600円、電動ロクロ3,800円
対象：幼児～一般(電動ロクロは小4～)/会場：鴨川陶芸館(鴨川市)
◆問合せ・申込み：04-7098-0012

アウトドア活動プロデュースします！ ELFIN 自然体感くらぶ
個人から家族、お仲間などグループ向けに体験活動をご提供します。掲載のプログラムからオリジナルまでご希望に応じてデザインします。団体、学校、企業向けの体験プログラムや研修の企画・運営、また講師や指導者の派遣も行っています。気軽にお問合わせ、ご相談ください。
◆問合せ・申込み：0470-55-8322

ご案内

新しい学年・新しい仲間と思い切りチャレンジしてみよう！
～CNSクラブ会員～

千葉自然学校のクラブ会員を募集中です。「会員割引」以外にも特典が盛りだくさんです！この機会にご登録はいかがでしょう？キャンプに3回以上ご参加予定の方は必見です！

特典① パーソナルレコード(個人の行動記録)の発行
特典② 会員割引
特典③ 優先案内
特典④ プレゼント(オリジナルグッズ・優待券)のチャンス！

◎入会金(初年度) おひとり …1,000円
◎年会費 ひと家族につき …4,500円
期間：平成26年4月1日～翌年3月31日迄の1年間



●ろくすけ日和『ろくすけ』

千葉自然学校では、築180年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学の皆さんやヤックス自然学校の学生リーダーの力を借りて少しずつ整備を進めながら、子ども・大人のキャンプで活躍中です。時々テレビにも出ています！

今年の冬は大雪が降り、ろくすけ周辺は北国のような光景となりました。現在は、暖かくなりはじめ、桜のつぼみがふくらみ始めました。このニュースレターがみなさんのところに届くころには、桜も咲いているでしょうか。

春は出会いと別れの季節です。私は、3年間、ろくすけで暮らしてきたのですが、4月から住人が変わります。

私がろくすけに住み始めたころは、うまく地域になじんでいけるか不安でした。しかし、平久里の方々は、外から来た私に対して、とても親切に接してくれました。そのため、不安な気持ちはすぐに無くなりました。頼れる方がいる、それだけで、とても安心できました。知り合いができると、どんどんつながっていき、3年間でとても多くの方にお世話になりました。築180年の茅葺き屋根の古民家に住むということもとても貴重な体験だったと思います。しかし、私は、平久里の方々と出会えたことが、一番大きな心の財産となりました。

私が移住して感じたことは、地域の集まりには、とにかく参加するというのが大切だということです。自分のことを知ってもらえるし、相手のこと、地域のことを知ることができます。お互いに「知らない」ということはとても不安なことだと思います。当たり前のことかもしれませんが、3年間、暮らしてきた中で大切にしてきたことです。

新しくろくすけに住むスタッフは4代目になります。私が平久里でやってきたこと、感じたことを伝え、平久里や里山のよさをより多くの人々に広めていってほしいと思います。

移住を検討されている方は、ぜひ平久里へいらしてください。優しい人々、田んぼ、大きな空、平久里を見守る「伊予ヶ岳」がみなさんを待っています。



【週末ホームステイで、子どもたちに生き物の話をするギャッツ】



【平群の祭で地区の氏子に選ばれ、白丁（はちちょう）という白装束に烏帽子を付け、餅を投げるギャッツ】

(かやぶき屋根のろくすけ住人 千葉雄祐/ギャッツ)

●千葉シニア自然大学「修了式」

3月19日、20日に千葉シニア自然大学(本科生、専攻科生)の修了式を行いました。今年度は、本科生40名、専攻科生29名の受講生が1年間の講義を終えて無事修了式を迎えられました。

修了後は、シニア自然大学の中で次のステップ(専攻科、研究科)に進まれる方、各々の場所・団体に活動される方、さらにやりたいことを追及される方とそれぞれの道を進まれることとなります。

今後の皆様のご活躍を心から祈願しております。ご修了、おめでとうございます。1年間お疲れさまでした！



みんなのおおきな食卓

～遠藤さんと松田料理長の郷土料理のお話～



遠藤さんの「不思議な郷土料理」

郷土料理の中にはときによそ者にとって不思議な、得体のしれない・・・と思えるものがある。私にとって、これを大好きとされている方からは叱られそうだが、“とうぞ”がそうだ。

暮れから春先にかけて味噌の仕込みが行われる。大豆を煮る際に出る餛色をした煮汁はとろりとしていかにも栄養がありそうである。きっと“とうぞ”を作り始めたきっかけも、この煮汁を捨ててしまうのはもったいないと思ったからなのだろう。この煮汁に塩と麴と切干大根や煮大豆などを混ぜて作る。ごはんにかけてたり、お湯を注いで汁ものにしたたりして食べる。

うす餛色をしたしょっぱくてとろりとした“とうぞ”は私にとってはいまだに不思議な食べ物だが、この時期これを食べないと・・・と隠れファンも多く、市原や長生郡内の麴屋さんでは販売しているところがある。



豆造[とうぞ]
(千葉県HP「ちばのふるさと料理」より)



そして、3月中下旬になると田拵えが始まり、種もみが水浸される。「種井20日に岡10日」といわれ、種もみを浸してから20日ほどしてもみをあげ、昼は日当たりのよい庭におき発芽させて苗をつくる。このとき余ったもみを炒って、臼でもみ殻をとり、さらに炒って作ったものが“やき米”又は“や一米”。これに塩や砂糖をまぶしたり、砂糖としょうゆで絡めたりして食べる。これはほぼ全国的に作られている。

ところが千葉ではこの炒りたての米を甘く煮た熱熱の小豆汁の中に入れて含ませて作る“や一米”がある。お赤飯を甘くぱらりと炊いた感じのものである。

南房総ではお盆の迎え火の時につくられる。「やき米食い食い、水を飲み飲み、この明りで来さっしゃいまし」とやき米を撒き、水のみそはぎの葉ですくって迎え火にかけるという。平群のSさんのやき米はとても美味しい。ぜひ作り方を教わりたいと思っている。



松田料理長の「春といえば」

春といえば真っ先に思い浮かぶのが、筍です。生産量が多く代表的なものは孟宗竹で、ほかには真竹や淡竹などがあります。筍は、まず下茹でしてから用いますが、掘りたてのものならそのまま、あるいは油で揚げて香りを閉じ込めてから使う場合もあります。また、穂先は柔らかくそのまま美味しくいただけて、下の部分はすりおろしたり、刻んで使えます。その中から、少し筍料理を紹介します。

○筍の木の芽和え

青寄せを作る。(ほうれん草一束分を摘み取り、熱湯に塩を入れ色よく茹でて、氷水で冷やし水気をしっかり絞り裏ごしをする)

西京味噌に酒・味醂・砂糖を入れて弱火にかけ30分ほどかけて最後に卵黄を入れる。

(目安は鍋底が見えるくらいの硬さ)

すり鉢に木の芽を入れよくすり混ぜて、さらに青寄せを入れすり混ぜて味噌と混ぜる。

下煮した筍(出汁・味醂・薄口醤油・砂糖)を一口大に切り和えて出来上がり。

※筍の下煮

筍は、皮を2～3枚むき穂先を落とし縦に切れ目を入れ、ぬかと赤唐辛子を入れ落し蓋をして煮る。煮立ってから1～2時間茹でて冷ます。冷めたら皮をむき、節の部分を割り箸でそぎ、きれいにする。

○筍の土佐揚げ

バルサミコ酢・濃口醤油・酒・味醂を火にかけて、ひと煮立ちしたら水溶き片栗粉でとろみをつけてソースを作り、一口大に切った筍を水に溶いた小麦粉にくぐらし、粉麩を付けて180度の油で揚げて、先ほどのソースをかけて出来上がり



会員校紹介 平成 26 年 3 月末現在

●団体会員（43 団体）

NPO 法人大山千枚田保存会、岩井民宿組合、ヤックス自然学校、鴨川陶芸館
(株)ちば南房総、千倉オレンジセンター、NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団
「わたしの田舎」谷当工房、NPO 法人佐倉みどりネット、森林塾かずさの森
(有)みねおかいきいき館、(一財)千葉県観光公社、上総自然学校
NPO 法人安房文化遺産フォーラム、シークロップダイビングスクール
夢の花かん、NPO 法人鴨川自然学校、(株)かずさアカデミアパーク
食と農の体験工房「よもぎ館」、千倉民宿組合、千葉県酪農のさと、ぬく森くらぶ
自然の宿「くすの木」、リゾートイン白浜、Live Stock (ライブストック)、
グランビュー岩井、さんむアクションミュージアム、市津・ちはら台自然楽校
NPO 法人里山会(勝浦エンゼルアドベンチャーランド)、Sunset Breeze Hota
千葉伝統郷土料理研究会、ひらつか地域活性化協議会、ピーちゃんクラブ
NPO 法人ちば里山センター、たのくろ里の村、森の時計・自然工夫塾
さんむ里の子自然塾(あいよ農場)、ELFIN 体験共有くらぶ、
NPO 法人千葉・草原のこころファーム、森のようちえんはっぴー、
環南みんなの楽校、(一財)千葉県環境財団、(一社)運動の和

●賛助会員（5 団体）

館山日東バス株式会社、(財)ちば国際コンベンションビューロー
㈱富楽里 とみやま、株式会社 HMC 東京 旅行事業部
(社)アーバンネイチャーマネジメントサービス(谷津干潟自然観察センター)

指定管理施設

現在、県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として管理・運営しています。

- ・南房総市大房岬少年自然の家
(県立施設として平成 17 年 9 月～平成 20 年 3 月)
(南房総市の施設として平成 20 年 4 月～)
- ・大房岬自然公園 (平成 18 年 4 月～)
- ・千葉県立君津亀山少年自然の家 (平成 20 年 4 月～)



大房岬自然公園



大房岬少年自然の家

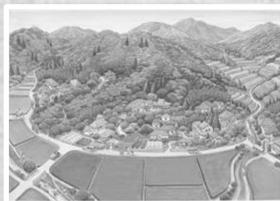


君津亀山少年自然の家

千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ

- ・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
- ・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
- ・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす



千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成 15 年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

千葉事務所のスタッフが一
年一回一言づつやきます。
お見逃しなく！

■ 毎年4月には、本校でも、新たに希望をもって入って来る者、夢を抱いて新しい道に踏み出す者、それぞれのドラマが繰り広げられます。皆が、幸せになってくれることを願うばかりです。 オーシャン

■ 花吹雪の中で、1日のんびりしたい。サニー
■ 今年は大雪で花粉症のスイッチが入らないかな？・・・と思ったら、見事にオンしました。 ボクサー

■ 「決まりごとを守ること」と「困りごとを共有すること」のバランスを見極めないとですね。

たこはち

■ まだまだ雪の被害が残っています。南岸低気圧。また、いろいろ学べた今年の2月だった。 アリ

■ 新しい事がいくつか同時にスタートする春。これまで同様に事業がスムーズにまわるよう作業を進めたいと思います。 ラウス

■ 里山で響く子どもの声。静かな里山に活気が出てくる。あるべき姿が目の前に、嬉しき湧き出る。 のりべん

■ いかなごの釘煮を戴きました。関西地方では、春にとれる魚の稚魚をそれぞれの家庭の味で佃煮にするようです。季節を感じて作る料理が並ぶ日本の食卓は、豊かで素敵ですね。 バグママ

■ 過日、シニア大学の有志が卒業(?) 文集作成に熱中！嘗てPTAで子供達の卒業(謝恩)文集作成を思い出し・・・卒業・入学・入社等、希望一杯の旅立ちの春到来！モリリン

■ 双子の子育て生活6か月。子ども軸と自分軸のバランスに四苦八苦。育児と育自、まだまだです。楽しみながら、一所懸命！けろっぴ

■ ネットワーク会議での情報交換で、君津亀山少年自然の家の悩みが1つ解決するという予想外の展開。NWの力は無限大。 かつを

《編集後記》

4月になりました。千葉自然学校も新体制となり新たなスタートを切ります。どんなことができるのか、どんなことが起こるのか、わくわくしながら進みたいと思います！



千葉自然学校の facebook ページを始めました。活動のご紹介など掲載していますので、お時間のある時にぜひご覧ください！

発行： **NPO法人 千葉自然学校**

千葉自然学校ニュースレター (年 4 回発行)

■ 千葉事務所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7 階

電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237

■ 安房事務所 〒299-2226 南房総市富浦町多田良 1212-23 大房岬少年自然の家内

電話・FAX：0470-33-2693

ホームページ：http://www.chiba-ns.net メールアドレス：info@chiba-ns.net

